

2023年9月20日

各位

会社名 株式会社 J M C  
代表者名 代表取締役社長 渡邊大知  
兼 CEO  
(コード番号: 5704 東証グロース)  
問合せ先 経営企画室長 倉嶋崇博  
(TEL. 045-477-5751)

## 大型・高品質鑄造が可能な低圧鑄造設備導入のお知らせ

「ギガキャスト（※）」工法の試作に対応する大型鑄造品の受注が可能に

職人の技とデジタル技術の融合によって高品質な鑄造品製造を行う株式会社 JMC（神奈川県横浜市 代表取締役社長兼 CEO: 渡邊大知）は、新たな生産設備として大型低圧鑄造設備の導入を完了し、2023年10月より稼働することをお知らせいたします。

### 1. 導入の背景

近年、次世代型のバッテリーEVの開発において部品の機能集約化・大型化が進んでおり、金属部品についてはさらに軽量化に向けた研究開発が活況であります。これらの実現に向けて、自動車メーカーでは「ギガキャスト」工法による大型鑄造部品を用いた量産の検討が進んでおりますが、日本国内において大型鑄造部品の試作を請け負うことができるベンダー（製造元、販売供給元のこと）や設備は極めて少ない状況であります。

### 2. 導入生産設備について

低圧鑄造設備は、溶解した金属を高密度・高品質で製造するための鑄造設備で、自動車部品をはじめとする重要保安部品の製造に用いられ、当社はすでに2019年8月より製造実績を有しております。今回導入する新たな大型低圧鑄造設備は、定盤面積 2,000mm×2,000mm、溶解重量 500kgを誇る大型低圧鑄造炉を擁しております。

当社では、2023年9月に稼働を開始している「コンセプトセンター第8期棟」での自硬性砂型鑄造による鑄造部品の量産体制に加え、今回導入する大型低圧鑄造設備によって自硬性砂型鑄造による大型鑄造部品の製造が可能となり、メーカーの「ギガキャスト」工法による量産に向けて、当社は大型試作品の供給体制を整備してまいります。

※：アルミダイキャスト（鋳造）で車体全体を一体成形する技術のこと。圧倒的な部品点数の削減により、工数削減・コスト低減に繋がる工法として、今後、自動車業界での導入が進むものと見込まれております。

## 【設備の概要】

所在地：長野県飯田市嶋（コンセプトセンター第6期棟）

投資額：約3,500万円

対応素材：アルミニウム合金

製造品目：自硬性砂型による低圧鋳造部品

## 【当社概要】

1999年、光造形方式の3Dプリンターを導入して製造業に参入。3Dプリンター出力による部品製造の事業規模が拡大する中、2006年に有限会社エス・ケー・イーを吸収合併し、砂型鑄造法による鑄造事業をスタート。3Dプリンターで培ったデジタル技術を背景に、職人の肌感で語られることが多かった鑄造を定量化することで、経験年数に依存せずに質の高い鑄造ができることを証明。業界に新たな進化を起こした。2015年には産業用CTによる非破壊検査・測定を目的としたCT事業を開始。さらに、心臓カテーテルシミュレーター『HEARTROID』の販売でメディカル分野にも領域を拡げた。2016年東京証券取引所マザーズに上場（2022年の東京証券取引所の市場区分見直しに際して「グロース市場」を選択）。2021年からは、保有する技術力を生かして旧車のレストアパーツ製造・販売を開始した。

所在地：神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-5 住友不動産新横浜ビル 1F

代表者：代表取締役社長兼 CEO 渡邊大知

設立：1992年12月18日

資本金：790,459千円

売上高：2,955百万円（2022年12月期）

従業員数：165名（2022年12月末）

事業内容：産業用3Dプリンターおよび砂型鑄造による試作品、各種部品・商品の製造、販売  
産業用CTの販売および検査・測定サービス、医療機器等の製造・製造販売

URL：<https://www.jmc-rp.co.jp/>

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社 JMC 経営企画室

TEL: 045-477-5751 E-MAIL: [ir@jmc-rp.co.jp](mailto:ir@jmc-rp.co.jp)